

令和8年2月18日(水)

## 小規模多機能居宅介護 宍道の里

事業所名称…社会福祉法人 縁むすび福祉会 小規模多機能型居宅介護 宍道の里

サービス種類…地域密着型小規模多機能型居宅介護

会議開催日… 令和8年2月18日(水)

開催場所…小規模多機能型居宅介護 宍道の里

出席者

事業所	2	名	事業所	0	名
利用者家族	1	名	地域代表者	1	名
松江市職員	1	名	地域包括支援センター	0	名
知見を有する者	1	名	その他(理事)	0	名

### 議事

#### 利用状況

登録者数 10名 (男性 3名 女性 7名 )  
要支援1 1名 要介護1 1名 要介護3 1名 要介護5 0名  
要支援2 3名 要介護2 3名 要介護4 1名 申請中 0名  
平均要介護度 1.738 平均年齢 80.0 歳

曜日別利用者数

	月	火	水	木	金	土	日
通い	0	2	0	4	0	2	0
訪問	3	1	3	3	1	3	3
泊り	5	5	5	4	4	4	4

#### 活動状況報告

- ・カレンダー作成
- ・季節のぬり絵
- ・初詣
- ・脳トレ(ボードゲーム)
- ・書初め
- ・鍋パーティ
- ・節分行事

(1)感染症対策として、マスクの装着を行っています。

1/19(月)に万九千神社へ初詣に行ったり、書初めをしたり、2/3(火)に職員手作りの鬼に向かって、豆の代わりにお手玉を使い豆まきをしたり、季節を感じながら活動を行っています。

#### 事故・ヒヤリ報告

事故報告書: 居室より「ドン」と音がし、開錠し訪室するとトイレに座られている。ご本人様へ聞くがどこでどうやって転倒されたか曖昧な回答だった。左膝を打っておられたが、外傷はなかった。

対策: 居室内を暗くされており、その中でトイレへ行こうとされたことが原因であった。

そのため、センサーライトを購入し、設置した。

事故報告書: 椅子に座られていたが、歩行器を引き寄せようとされ靴が滑り転倒され、後頭部を打撲された。血圧が普段より高めであったが、意識レベルの低下はなく、吐き気、嘔吐もなかった。

対策: 足の筋力の低下が目だっているため、不穏な動きがあれば付き添う。  
ご本人様の近くに歩行器を置かないようにする。

事故報告書: 居室から声が聞こえたため居室に行くと、ベットの近くの床に座られており、立とうとされるが立てずに呼んでおられた。のちに、右肩の痛みを訴えられる。熱があり、ふらつきも見られていたため、転倒につながったと思われる。

対策: 背面センサーの設置を検討し、その後設置を完了した。

事故報告書: 外出後、車から降りた際、駐車場の柵を右手でつかんだまま、右膝を地面につけておられるのを発見する。車から降りる際、一人で降りられていた。職員の介助で立ちあがってもらい、怪我がないか確認するが怪我は見受けられなかった。日ごろから手すりにつかまって歩かれることがよくあるため、柵がロープのため不安定となり転倒されたと思われる。

対策: 外出の際は、必ず職員が見守り降りていただく。  
また、最近足の動きも悪くなられたため、外出時は車いすを使用していただくこととする。

## その他

松江市職員 「事故報告が4件ありますが、大きな怪我はされませんでしたか。」

施設長 「大きな怪我にはつながらなかったのが良かったですと思います。」

利用者家族 「事故報告に血圧が高めで転倒があったり、熱があり転倒があったとなっていました、体調の把握はどうしておられますか。」

施設長 「毎朝、血圧、酸素濃度、熱を測っており、いつもより高かった方は、回数を増やし測るようにしていますが、体調悪くても動かれる方が多いため、転倒されることが多くあります。そのため居室で動かれると対応が難しいです。」